

各位

参加希望の方は、**7/4(土)までに、長野県剣道連盟事務局**に
直接申込してください。

平成27年6月吉日

長野県基本錬成大会実行委員会委員長
常田 政邦

第一回長野県剣道基本錬成大会 兼 脇本杯争奪剣道大会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より長野県剣道連盟の諸行事に対し、多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、来る、7月11日(土)、12日(日)に**長野県剣道基本錬成大会及び講習会**を、下記により実施いたします。講師には、**剣道範士八段 脇本三千雄先生**をお招きしてございますので、是非ご参加下さいますようお願い申し上げます。なお、1日目には**指導者交流稽古会を行いますので多くの指導者のご参加をお願い申し上げます**。別紙申込書に従って返信いただきたくお願い申し上げます。

記

- 1、主 催 長野県剣道基本錬成大会 実行委員会
後 援 一般財団法人 長野県剣道連盟
主 幹 一般財団法人 長野県剣道連盟 普及委員会

2、日 程

平成27年7月11日(土)

受付：PM 2:30～

開始：PM 3:00～PM5:00

会場：松代中学校海津体育館

内容：剣道講話、少年指導法、指導稽古、**対象は指導者及び一般参加者**

平成27年7月12日(日)

受付 AM8:00～

開始 AM9:00～PM3:30

会場：坂城町民体育館

内容：基本錬成大会(審判法含む)、指導法

指導稽古 対象は小学生及び一般指導者

3、講 師 **剣道範士八段 脇本 三千雄 先生**

4、講習会及び大会参加費

1日目 無料(参加人数に制限はありません)

2日目 1チーム3,000円(各団体、参加チーム数に制限はありません。)

*大会当日受付で納入すること。

*各チームより1名の帯同審判員をお願い致します。

5、申し込み方法

別紙申込書にて**ファックスもしくは郵送で7月4日(土)**までに下記までお送りください。

なお、**駐車場に限りがございますので乗り合わせ**にてご来場下さいますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら下記担当までご連絡下さい。

宛先 長野県剣道連盟事務局
長野市諏訪町503
電話026-237-8939
FAX026-235-8266
長野県剣道連盟

平成27年度長野県北信地区武道錬成大会実施要領

1、競技規則

平成27年度 全日本少年武道（剣道）錬成大会の試合実施要綱及び、全日本剣道連盟の試合規則、審判規則及び細則、並びに本大会の申し合わせ事項により行う。

2、競技方法

予選 40秒間で基本判定試合及び、1分一本勝負にて行う。

決勝 2分三本勝負にて行う。

3、チーム編成

小学生で、その団体に所属する者で、監督一名、選手五名以内とする。

なお、選手の入替えは自由とする。

4、勝 敗

予選リーグは基本判定試合・一本勝負の勝者数・総本数の順により決定する。

準決勝リーグより勝敗の決しない場合は引き分けとする。なお、リーグ内で順位が決しない場合は代表者戦を行い、選手は任意とする。代表者戦は一本勝負とし、試合時間は区切らず、勝敗の決するまで行う。

5、基本判定試合の判定基準

(1) 正しい礼法・着等画できているか。

(2) 充実した気勢で大きく、正しく、気剣体の一致で打っているか。

(3) 繰り返し

(ア) 竹刀の振り方は正しいか。

(イ) 足の運びは正しいか。(退き足が歩み足にならないか)

(ウ) 左右面を打つ角度が約45度になっているか。

(エ) [正面打ち] のとき一足一刀の間合いから打っているか。

(オ) 竹刀の打突部で打突部位を正しく打っているか。

(カ) [左右面打ち] のとき左こぶしが正中線を通り相手の見える所まで上がっているか。

(キ) [正面打ち] のとき両腕が自然に伸び、左こぶしが中心(みぞおち)に納まっているか。

(ク) 最後まで気合と体勢が崩れないか。

(4) 打ち込み稽古

(ア) 足さばきが正しいか。

(イ) 技に適した足さばきが出来ているか。

(ウ) 間合い取りが適切か。

(エ) 技が正確(気剣体一致)であるか。

(オ) 最後まで気合と体勢が崩れないか。

(カ) 残心がなされているか。

6、試合審判について

(ア) 基本判定は、旗を持ち替えずに、主審が何対何勝負ありと宣告してください。

(イ) 基本判定から一本勝負に移行するときの動き方に注意してください。

(ウ) 有効打突を確実に判定してください。特に、チャンスを捉えている技については、積極的に取るようにしてください。

(エ) 反則は規則に則って適切に取ってください。

(オ) 場外付近にてもつれている場合は止めをかけて元に戻してください。

(カ) 鏝競り合いについては、技を出そうとしているかそうでないかを早目に判断をして別れをかけるか、反則を取るようにしてください。

(キ) 試合が活性化するような審判、判定をするようにしてください。

7、その他

(1) 竹刀の検査は行いませんが、各監督は選手の竹刀点検を試合ごとに十分行って下さい。

(2) 各チームの監督は、試合終了後、結果をよく確認してください。

掲示はしませんのでよろしくお願いいたします。